

通信 S O R A

住宅工房 S O R A とお客様を結ぶコミュニケーション情報誌

2006 7 月号

社長のひとりごと

家のプランニングと言うと平面プランを思い浮かべる方がほとんどだと思います。平面プランを一般には間取りと言って、部屋の広さや配置、水廻りの位置、玄関や階段の広さや位置・・・など、家を造ろうとする方は間取りを中心に考えます。一般の方はそれを考えることが家の設計だと思っています。しかし、専門家は「それは重要な要素ではあるが設計のほんの一部に過ぎない」と考えます。まず予算を考慮して、そこから外構や植栽その他必要経費を差引き、建築にかけられる金額を概算で算出し、希望の仕様でのおおよその延べ面積をおさえます。その上で、敷地の広さ・方向・高さ、アプローチとゾーニングのとり方、など外部環境から家の設計に入ります。限られた予算の中で、要望を満たす心地良い設計をするのが専門家の仕事です。その過程で、当初の要望が満たされない場合が出てきます。8帖間二間続きの和室、8帖の個室、階段の段差を低く、収納はできるだけ多く、・・・何を一番大事にし優先したいかなど、良く考えていただき、重要度の低いことは除外していきます。そうやって新しい家での暮らし方を想像しながら 設計を進めていきます。そんなプロセスを経ることが「家造りは暮らし作り」という所以です。

代表取締役 田中 昭弘

お宅拝見 浪江町 渡邊さん

OM入居3年目の渡邊さんにインタビュー

浪江から東京へ転勤した渡邊さんに、私が手紙といっしょに送ったOMソーラーのパンフがきっかけでした。

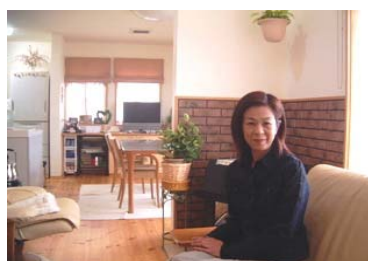
ご主人は、OMとは何ぞやから始まりネットで調べ、本を読み、納得・共感したそうです。

東京でマイホームをと思い探しているとき、再度浪江に転勤の話が持ち上がり、田舎なら土地ではなく家にお金をかけられるので、OMで建てようと考えたということです。

「友だちだから頼んだのではなく、縁があったのだと思います。」と奥さまは振り返ります。

「メカに強い主人がいいというものに全く不安を持たず、家が出来るまでOMはポカポカの床暖房だと思っていたくらい、寒がり屋の私は期待をしていました。実際は、パンフ等でうたっている通り暖かくはないのです。 寒くない、暑くないこの感覚に今ではすっかり変わり、また、子どもは喘息の発作がなくなり、風邪もひかなくなりました。」

乾燥 = 風邪をひく という考えは間違いで、身体を過保護にすることが不健康だと奥さまは言います。



インテリアの小物、色づかい等コーディネートがとてもじょうずで、すてきに暮らしていました。

田中圭子

7～8月イベントのご案内 (申込み受付中!!)

7月 2日(日) 広がり間取りセミナー 13:30～15:00

敷地に対する家や庭の配置(ゾーニング)を通し、LDK間取りと比較して、家族のコミュニケーションや省スペースなど広がり間取りの良さを感じてください。

7月 16日(日) 珪藻土塗り壁体験会 13:30～15:30

自然素材の珪藻土を自分の手で実際に塗ってみてください。職人にはない荒い仕上げがアジがあって良かったりしますよ。詳しくはサメジマコーポレーションホームページでご確認ください。(http://www.samejima.co.jp/silix/taiken/schedule.html)

8月 6日(日) 親子木工教室 13:30～15:30

花台、鍋敷きなどいろいろ使えるテーブルすのこを作ります。お一人でも親子でも参加はご自由です。

上記予定は変更になることがあります。詳細が決まり次第、DMなどでお知らせします。

申込・問合せ先：田中建設工業株式会社 住宅工房SORA 営業部 担当 田中
TEL 0240-34-6125 FAX 0240-34-6126

日帰りバスツアーを開催しました。

【ソーラータウン見学と川越観光】

6月18日、あいにくの雨模様の中、日帰りバスツアーを実施しました。

浪江を朝5時に出発。途中2回の休憩を入れ、渋滞も無く9時30分に久米川ソーラータウンに到着。予定より30分早く到着しましたが、相羽建設さんと住まい手の方の特別なお計らいにより、ゆっくり、じっくりと見学することができました。

約4年ぶりの久米川ソーラータウンは、建設ラッシュだった当時の状況とは一変し、あたかもずっと前からそこにあったような佇まいが感じられました。アプローチ、植栽、木塀、外壁などとてもじっくりしています。やはり本物の素材は工業製品と違い、経年変化が自然でいいですね。

住まい手の方のお話を伺い、子供たちが何処からとも無く集まってきて、ガキ大将の号令と一緒に遊んでいる光景が目に見えよう。さらに、それを近所の大人たちがさりげなく見守っている様子は、ちょっと前まで何処でも見ることができた当たり前の風景です。最近では田舎でもあまり見ることができません。物質的には豊かになっても、精神的に貧しくなっているとしか思えません。久米川ソーラータウンはそんな豊かなコミュニティのある場所のようです。

一方、西所沢ソーラータウンは、昨年からはまった新しい街づくりです。こちらも基本的なコンセプトは久米川と同じで、建築のデザインや素材を少し変えています。



いろいろ不利な条件があっても、街路計画などプランニング次第でこんなにいい街並みになるというお手本のようなところ。近い将来、久米川のような豊かなコミュニティができることでしょう。

一通り見学を終え、帰りは蔵の街川越観光です。蔵造りの街並み、時の鐘、菓子屋横丁など散策し、最後に川越まつり会館を見学しました。

ちょうど2時30分からお囃子の実演があり、小江戸の祭り気分を味わえました。山車は飾り付け前の木組みの彫刻までで約3600万円、人形などすべてを整えると約1億円かかるということ聞き驚きました。近年は企業献金などで成立しているようです。

今回のツアーを通し、改めてコミュニティの大切さ、プライバシーを守りつつ街に向かって開く家創りの重要さを感じました。夜ノ森ソーラータウンも久米川、西所沢のような豊かな場所になるようがんばっていきたいと思います。

